

海洋観光に関するシンポジウム議事概要

平成26年3月25日開催

【議事概要】

1. 第Ⅰ部 報告・講演

○海洋観光の振興に関する検討会からの報告【矢ヶ崎紀子 首都大学東京都市環境科学研究科観光科学域特任准教授（海洋観光の振興に関する検討会座長）】

- ・海洋観光の振興に関する検討会で議論された海洋観光の施策体系や今後の主な政策課題についての報告がなされた。海洋観光に関する今後の主な政策課題としては、①海洋観光の魅力の発掘と磨き上げ、②魅力の情報発信手法の向上、③産業創出と振興、④離島振興、⑤我が国海洋に関する周知と啓発、⑥海洋観光に係る人材の育成、⑦関係者の連携、が挙げられた。

○佐渡市におけるクルーズ船誘致の取組について【藤井裕士 佐渡市総合政策監】

- ・佐渡島におけるクルーズ船誘致に向けた「対話の集い」の概要、今後のクルーズ船受入体制構築に向けた動き、今後の課題について報告がなされた。

○海洋観光の振興に関する検討会からの報告【遠藤正啓 石巻市建設部河川港湾室主幹】

- ・近隣の2市2町（石巻市、東松島市、女川町、松島町）を中心に取り組んでいる「石巻大型客船誘致協議会」の概要やこれまで実施しているポートセールスやオプションツアー、歓迎イベント、またクルーズ客向けマップ作成に関する取組等の紹介がなされた。

2. 第Ⅱ部 パネルディスカッション

以下の2つのテーマに沿ってパネリストからの発表を行い、それぞれディスカッションを行った。最後に矢ヶ崎紀子氏より以下のとおり議論を踏まえた総括があった。

テーマ1 「海洋観光の魅力と情報発信について」

- フンク・カロリン 広島大学大学院 総合科学研究科准教授
- 原田茂 全国離島振興推進委員連絡協議会理事
- 齋藤潤 島旅ライター

テーマ2 「海洋観光の課題や今後の取組の可能性について」

- 宮崎俊哉 株式会社三菱総合研究所社会公共マネジメント研究本部主席研究員
- 清水克子 近畿日本ツーリスト株式会社クルーズマスター
- 佐々木正美 新日本海フェリー株式会社常務取締役

パネルディスカッション総括

- 海洋観光の資源に価値が認められ、最終的に地域の活性化・雇用確保につながるサイクルが重要である。
- クルーズ振興のためには、陸域との連携や、船に乗ること自体が楽しいということについてのPRが重要である。
- 海洋観光振興の将来の土台作りとして、国民への海洋の魅力の普及・啓発を早急に行い、特に家族連れに海を楽しんでもらうよう、促すことが重要である。
- 「子どもの頃良い旅行をした人は、大人になると子どもに良い旅行をさせる（自分の旅行経験以上の良い旅行経験をさせる）」ことが観光白書でも示されており、家族旅行を推進するために、国の施策の実施、自治体との連携のもと、五輪等のイベントをうまく使いながら、戦略的に機運を高めていくことが重要である。

3. 「海洋観光」写真コンテスト 結果発表・講評

シンポジウムに先立ち実施していた「海洋観光」写真コンテストの結果発表について、審査委員長の中村庸夫氏（海洋写真家）により行われた。グランプリ、準グランプリ、特別賞を受賞した作品は以下のとおり。

- グランプリ 「おふね、いってらっしゃい、したの」
- 準グランプリ 「またきてね」
- 〃 「ガリンコ号と流氷」
- 特別賞 「楽園の湊」

<以上>